

亀岡のもみじ寺 苗秀寺のご案内

創建 苗秀寺は、奈良時代に建てられた瑜伽宗のお寺で、当時は国分尼寺であったと伝えられています。平安時代に天台宗に改宗 一大勢力を保っていたため、明智日向守の兵災により煙没し、往時を詳細に知りません。

寛永二年 亀山藩主大給松平成重公により元の土地、野下の地に曹洞宗として再興されるも、青山因幡の守から亀山藩の山城跡であった現在地を拝領、松平紀伊の守信岑公により、お城の材を使って再中興開山され、僧侶の養成機関として現在に至ります。

龍門

りゅうもん

お寺の入り口に立っている門で三門の最初の門

登竜門の名前は 誰しもが通らなければならぬ一番最初の門であるところからつけられた名前

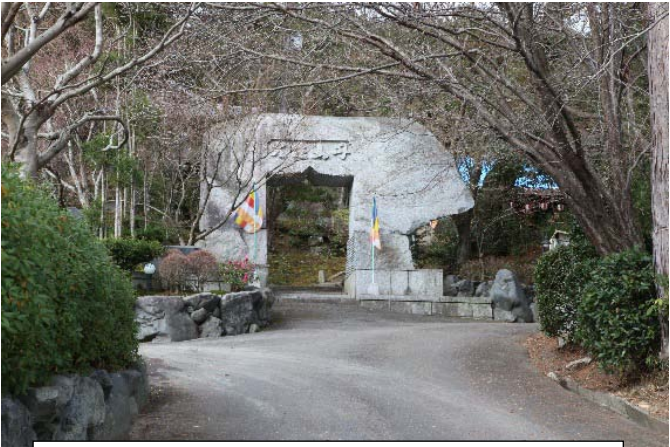
門柱の石はアフリカ産の石

約1メートル角 一本の目方 二十五トン

土台石 一つ 二十五トン

文字は 横浜鶴見の

大本山総持寺貫首 海田信隆大禅師宛下



白像門

はくごうもん 中門

三門の二番目の門で、白い象に似ているところから

「白像門」と名付けた

出家するには、ここで改めて決意に間違いがないか自問自答する門で

参拝する人も浄域を汚さないように 改めて心する門

佐賀県産 花崗岩総重量 六三トン



参道

さんどう

白象門から薬医門への正式な道で昔は松平の殿様も通られた道

参道の下には、池があるが 中国ニンポウの修行道場
天童寺の作りに似ているのは、たまたまの偶然か、
それとも、道元禅師様ご修行のお寺の作りに似せたのは、
そのお心を忘れないように作られたのか。
いずれにしても、修行道場であることの心がけだけは
忘れてはならない。

薬医門

やくいもん

本堂正面の正門

この門より境内正面に入ります。

まさに、修行する人にとっての最終決断をする門
新住職が晋山式・江湖会をするとき、正式に入山すると
きに通る正門。

三百年前に建てられたもの

金箔仕上げの「龍」の彫刻が珍しい

紅葉シーズンには この場所からの眺めは 素晴らしい

山門頭額

当山の正式名称は

丹山法窟 たんざんほうくつ

霊松山 れいしょうざん

苗秀寺 みょうしゅうじ

まさに修行のためのお寺であることの証明
通常は 山号 と 寺名のみである



法堂 はつとう

本堂のこと 住職の正式法話の場所
約三百年前の建物

亀山藩の山城の材料を再利用して建てられた建物
松平紀伊の守 信岑公によって建てられた

梵鐘 ぼんしょう

昭和十八年の金属回収令により供出

平成三年に再鑄造

一t三百キロ 直径百三十cm

文字は、大本山永平寺丹羽廉芳大禅師猊下

大本山總持寺梅田信隆大禅師猊下

鐘楼堂は300年前のもの

除夜の鐘 じよやのかね

イルミネーションで飾られた境内で

行く年に感謝

来る年に希望

午前〇時

新婚さんいらっしやいカウントダウン愛の鐘撞き

来年は あなた！ あなたのお孫さん？



六体の童地蔵尊 わらへ
六体のかわいい童地蔵尊は、子供たちの
無事な成長を祈って奉納されたもの
平成五年に完成



観音堂 かのんどう
元は、大日堂であった
古くから 大日様を本尊としてお祀りし、脇に観音様を
お祭りしていた。
しかし、新しく大日堂を建てたために、脇物の観音様を
ご本尊様としてお祀りした。
観音様には、子どもさんの無事な成長を祈願して、お祀
りしたことが書かれており、桜の一刀彫であり、
とても霊驗あらたかな観音様である。
角の生えたお地藏さまも祀られおり、
関西テレビで放映された



大日堂 不思議な「福牛」の体温
佐伯の地名に「大日堂」が残っているのは、この大日様が祀られて
いたからであり、江戸時代の終わりに 現在地に移動して奉納した。
平成五年に現在地に移動 再建
前には、黒毛和牛の「福牛」しあわせのうしが祀られている。撫ぜると
頭と胴体とは 温度が美味用に違います
※ 現在の地名 大日堂の広い地域は、苗秀寺の昔在地だった

曹洞宗丹山法窟靈松山苗秀寺

621-0033 亀岡市蕪田野町佐伯大門 47

☎ 0771-22-0811 Fax0771-22-6484